平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名　日本フェンオール株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6870　URL　http://www.fenwal.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井口　雅雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長　(氏名) 高田　忠夫　TEL 03-3237-3561

四半期報告書提出予定日　平成25年8月6日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	9,165	4.6	775	13.8	820	△2.7	525	2.7
24年12月期第2四半期	8,765	23.4	680	53.2	842	90.1	511	625.9

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　708百万円　(32.2%)　24年12月期第2四半期　536百万円　(310.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	89.18	―
24年12月期第2四半期	86.80	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	13,766	6,808	49.5	1,155.34
24年12月期	12,875	6,311	49.0	1,071.07

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　6,808百万円　24年12月期　6,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	36.00	36.00
25年12月期	―	0.00			
25年12月期(予想)			―	27.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
(注)24年12月期期末配当金には、特別配当9円が含まれております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,406	11.8	1,182	20.9	1,253	1.9	782	0.4	132.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	5,893,000 株	24年12月期	5,893,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	237 株	24年12月期	237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	5,892,763 株	24年12月期2Q	5,892,835 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な金融緩和政策や経済政策を背景に円安基調で推移したほか、株高を支えに個人消費が持ち直すなど明るい兆しはあるものの、ユーロ圏の景気後退に加え、新興国の景気減速が見え始めたほか、来年４月に消費増税を控え経済成長の持続性の懸念も広がり、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、差別化された高付加価値製品の開発に注力し、市場競争力を高めるとともに、アジアを中心とする海外市場への拡販準備を進めてまいりました。生産拠点である長野工場におきましては生産性向上を目的とした部門横断のタスクチームを中心とし、工程改善活動、原価低減活動に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、受注高は10,009百万円(前年同四半期比18.2%増)、売上高は9,165百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。

利益面におきましては、円安の影響等により海外子会社の売上総利益が増加したことから、営業利益は775百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。経常利益につきましては、当第２四半期連結累計期間は前連結会計年度と比較し円安傾向であったこと及び為替予約の実施等により42百万円の為替差益が発生し820百万円(前年同四半期比2.7%減)、四半期純利益につきましては、525百万円(前年同四半期比2.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

防災設備業界におきましては金融緩和をはじめとする様々な経済対策による景気押し上げ効果等により、公共投資や民間設備投資は活況を呈し回復基調にあるものの、受注競争が更に激化するなど、厳しい環境のまま推移いたしました。

このような環境の下、得意分野であるガス消火設備や特殊防災設備を中心に積極的な営業展開を行ってまいりました。これらにより、電力等基幹産業分野の引き合いが増加していることから、受注高は堅調に推移したものの、売上高の回復までには至りませんでした。

以上の結果、受注高は3,267百万円(前年同四半期比51.9%増)、売上高は2,445百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

サーマル部門

当該部門の主要取引先である半導体業界はリーマンショックを機に需要が減少し、その後スマートフォンブームを機に一旦回復の兆しが見えたものの低迷を続け、今期に入り再びスマートフォン、タブレット端末の需要が拡大したことに伴い回復基調に転じました。しかしながら、当社製品の売上の増加に結びつくまでには至らず、主力製品であるセンサー、熱板等の出荷が減少いたしました。

以上の結果、受注高は517百万円(前年同四半期比21.0%減)、売上高は514百万円(前年同四半期比21.2%減)となりました。

メディカル部門

当該部門の主力製品である海外向け人工腎臓透析装置は、混沌とした市場環境の影響により、販売元から代理店への出荷数量が若干減少したほか、同製品の生産要素部品の販売も減少いたしました。

以上の結果、受注高は904百万円(前年同四半期比5.4%減)、売上高は829百万円(前年同四半期比3.8%減)となりました。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

プリント基板の実装と組立てが主体の当該部門におきましては、主要顧客である事務機器業界の需要の続伸と、セキュリティー関連機器や医療機器業界の需要も増加したこと等により、海外子会社である日本芥翁(香港)有限公司の出荷が増加いたしました。

以上の結果、受注高は5,321百万円(前年同四半期比13.1%増)、売上高は5,375百万円(前年同四半期比13.5%増)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、13,766百万円となり、前連結会計年度末12,875百万円に比べ890百万円(6.9%)増加しております。主な増加要因は「受取手形及び売掛金」の増加775百万円(23.5%)、「現金及び預金」の増加357百万円(9.4%)によるものであります。

負債総額は、6,958百万円となり、前連結会計年度末6,564百万円に比べ393百万円(6.0%)増加しております。主な増加要因は、「短期借入金」の増加409百万円(36.1%)、「支払手形及び買掛金」の増加420百万円(14.6%)によるものであり、主な減少要因は「未払法人税等」178百万円(43.7%)によるものであります。

純資産合計は、6,808百万円となり、前連結会計年度末6,311百万円に比べ496百万円(7.9%)増加しております。主な増加要因は四半期純利益525百万円であり、主な減少要因は配当金の支払212百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、4,151百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は、330百万円(前年同四半期比402百万円減)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益821百万円、たな卸資産の減少459百万円であり、資金減少の主な要因は、売上債権の増加602百万円、法人税等の支払額414百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動の結果使用した資金は、53百万円(前年同四半期は54百万円の獲得)となりました。資金増加の主な要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入203百万円、資金減少の主な要因は、投資有価証券の取得による支出205百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動の結果獲得した資金は、15百万円(前年同四半期比104百万円減)となりました。資金増加の主な要因は、短期借入金の純増加額347百万円、資金減少の主な要因は、社債の償還による支出82百万円、配当金の支払額210百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年５月１日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,321	4,151,400
受取手形及び売掛金	3,296,451	4,072,400
電子記録債権	98,030	141,294
完成工事未収入金	482,368	486,599
有価証券	199,649	－
製品	424,084	244,112
仕掛品	299,271	311,997
原材料	1,463,721	1,490,534
未成工事支出金	646,425	472,514
その他	85,069	45,224
貸倒引当金	△9,987	△10,961
流動資産合計	10,779,407	11,405,116
固定資産		
有形固定資産	888,010	858,581
無形固定資産	75,102	62,512
投資その他の資産		
投資有価証券	823,925	1,159,228
その他	376,433	309,053
貸倒引当金	△66,939	△28,173
投資その他の資産合計	1,133,419	1,440,108
固定資産合計	2,096,531	2,361,202
資産合計	12,875,939	13,766,318
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,872,439	3,293,164
工事未払金	350,245	337,143
短期借入金	1,132,900	1,542,245
1年内返済予定の長期借入金	66,666	66,666
1年内償還予定の社債	165,000	168,000
未払法人税等	408,695	230,189
役員賞与引当金	－	11,000
その他	659,359	540,325
流動負債合計	5,655,305	6,188,733
固定負債		
社債	286,500	201,000
長期借入金	66,668	33,335
役員退職慰労引当金	73,338	60,927
退職給付引当金	445,763	442,264
資産除去債務	22,636	22,636
その他	14,159	9,266
固定負債合計	909,065	769,428
負債合計	6,564,370	6,958,162

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	3,728,558	4,041,953
自己株式	△145	△145
株主資本合計	6,185,530	6,498,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,095	197,971
為替換算調整勘定	12,942	111,259
その他の包括利益累計額合計	126,038	309,230
純資産合計	6,311,568	6,808,156
負債純資産合計	12,875,939	13,766,318

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	8,765,979	9,165,662
売上原価	7,073,822	7,435,003
売上総利益	1,692,156	1,730,659
販売費及び一般管理費	1,011,283	955,556
営業利益	680,873	775,103
営業外収益		
受取利息	5,472	2,201
受取配当金	15,022	16,924
為替差益	52,873	42,147
製造販売権譲渡益	100,000	－
その他	1,560	2,185
営業外収益合計	174,927	63,459
営業外費用		
支払利息	12,222	11,330
保険解約損	－	6,238
貸倒引当金繰入額	16	1
その他	684	946
営業外費用合計	12,923	18,516
経常利益	842,877	820,046
特別利益		
固定資産売却益	810	－
投資有価証券売却益	－	1,793
特別利益合計	810	1,793
特別損失		
固定資産除却損	5	－
特別損失合計	5	－
税金等調整前四半期純利益	843,682	821,840
法人税、住民税及び事業税	319,770	236,315
法人税等調整額	12,392	59,989
法人税等合計	332,163	296,305
少数株主損益調整前四半期純利益	511,519	525,534
四半期純利益	511,519	525,534

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	511,519	525,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,027	84,875
為替換算調整勘定	6,638	98,317
その他の包括利益合計	24,666	183,192
四半期包括利益	536,185	708,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,185	708,727

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	843,682	821,840
減価償却費	70,063	62,058
貸倒引当金の増減額（△は減少）	62,418	△37,791
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	11,000	11,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	7,090	△3,498
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,962	△12,411
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△7,111	－
受取利息及び受取配当金	△20,494	△19,126
支払利息	12,222	11,330
為替差損益（△は益）	△20,552	△28,446
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△1,793
保険解約損	－	6,238
固定資産売却損益（△は益）	△810	－
固定資産除却損	5	－
売上債権の増減額（△は増加）	△112	△602,234
たな卸資産の増減額（△は増加）	332,681	459,790
仕入債務の増減額（△は減少）	△433,037	176,578
その他	△9,416	△106,891
小計	856,590	736,642
利息及び配当金の受取額	20,503	19,760
利息の支払額	△12,470	△11,698
法人税等の支払額	△132,539	△414,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	732,084	330,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	－
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△691	△205,465
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	－	203,713
有形固定資産の取得による支出	△25,036	△19,440
その他	△19,660	△32,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	54,611	△53,589
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	366,929	347,285
長期借入金の返済による支出	△33,333	△33,333
社債の償還による支出	△49,500	△82,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,745	△5,835
配当金の支払額	△157,759	△210,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,591	15,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,911	65,550
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	929,199	357,079
現金及び現金同等物の期首残高	2,050,193	3,794,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,979,393	4,151,400

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＳＳＰ部門	サーマル部門	メディカル部門	ＰＷＢＡ部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,512,318	653,311	862,236	4,738,112	8,765,979	－	8,765,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	2,512,318	653,311	862,236	4,738,112	8,765,979	－	8,765,979
セグメント利益	421,089	75,689	95,987	343,093	935,860	△254,986	680,873

（注）１ セグメント利益の調整額△254,986千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＳＳＰ部門	サーマル部門	メディカル部門	ＰＷＢＡ部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,445,925	514,484	829,575	5,375,676	9,165,662	－	9,165,662
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	2,445,925	514,484	829,575	5,375,676	9,165,662	－	9,165,662
セグメント利益	462,954	77,567	97,633	369,427	1,007,582	△232,479	775,103

（注）１ セグメント利益の調整額△232,479千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。